

6月2日（月）太地町集会・2025年原水爆禁止国民平和行進 日本政府は禁止条約の署名・批准を!!



太地町での平和行進



集会に参加する太地町の職員

6月2日（月）国民平和行進は東牟婁、太地町に入りました。出発集会は、従来通り、太地町公民館前です。東牟婁原水協の増田弘さんが進行します。最初、地元代表の太地ともしび会の山田秋生さんの挨拶です。「私は先達より周辺地域への原発立地反対運動を学びました。又、太平洋ビキニ環礁の水爆実験によって太地町のマグロ漁船も被害に遭っています。日本は唯一の戦争被爆国です。原子爆弾がヒロシマ、ナガサキに投下され今年で80年です。被爆した人々、黒い雨をで今も苦しんでいる人々の中には、国の補償も届いてない方々もいます。ようやく日本被団協の方々と世界の人々の力で、2021年1月22日、核兵器禁止条約が発効しました。しかし、日本政府は参加していません。そんな中、日本被団協がノーベル平和賞を受賞し、核兵器禁止条約への参加により近づいたと国民のみなさんが思いをあらわにしています。」県実行委員会からは平和行進が5月7日に橋本市を出発して今日までに725人が参加している事を報告しました。続いて、わかやま市民生協の山本力羽さんが決意表明をおこないます。そして紀南労協の岸本芳明さんが集会アピールを読み上げます。最後「青い空は」を参加者で合唱します。（集会参加者30人）。町職員の方々も多数参加しています。宣伝カーを先頭に、平和行進が出発します。平和行進は公民館前から太地町内の路地を抜け、太地町漁協前を歩いて、公民館横の駐車場に戻ってきました。本日の平和行進は、古座川町、串本町になります。

県事務局務局